

平成 21 年度「霧ヶ峰学術調査の発表会」の開催について

1 はじめに

霧ヶ峰自然環境保全協議会は 2007 年（平成 19 年）11 月に発足し、様々な活動が行われているが、平成 20 年度は、国の地方の元気再生事業の助成を受けて、信州大学が中心となり、次の 4 つの調査を実施した。 湿原環境検討調査 植物分布調査 外来種対応に関する実験調査 資源としての雑木・草の活用可能性調査。

平成 21 年度は、信州大学の 3 つのグループが中心となり、次の 3 つの調査を行った。

植物種分布調査 湿原環境検討調査 外来種対応調査。平成 21 年度の調査は、調査者の自己負担で行っている。平成 20 年度は、調査期間が 20 年 8 月から 4 ヶ月であったため、平成 21 年度も継続調査を行い、特に未調査である 4 月からの調査を行い、通年を通しての調査としていく。

また、協議会では、保全再生計画の推進に資する具体的な検討を行うため、「霧ヶ峰自然再生推進計画等検討会」を設置して検討を進めてきているので、今後、「霧ヶ峰自然再生推進計画 仮称」及び「天然記念物保存管理計画 仮称」の策定のための必要な学術調査と関連付けて実施していくことにする。

については、これまでの調査をもとに、中間報告として今までの調査結果を取りまとめ、霧ヶ峰の現状を再確認するとともに、今後の霧ヶ峰保全再生計画等に活かすために学術調査発表会を開催するものである。

2 開催日時 平成 21 年 12 月 19 日（土）午後 1 時 30 分～ 4 時 30 分

3 場 所 下諏訪町公民館 集会室
下諏訪町 4 6 1 1 - 4 0 下諏訪町総合文化センター内
TEL : 0266-28-0018

4 主 催 霧ヶ峰自然環境保全協議会他

5 発表者および発表内容・プログラム（案）
裏面のとおり

発表者および発表内容・プログラム（案）

- 1 開会あいさつ
- 2 報告会の意図と調査内容について（10分）
信州大学名誉教授 霧ヶ峰自然環境保全協議会 座長 土田勝義
- 3 霧ヶ峰草原にはどんな植物が生えているのか（30分）
（1）「霧ヶ峰の植物相の現在について」（仮題）
土田勝義・川上美保子（霧ヶ峰草原植物生態研究会 代表）
（2）「霧ヶ峰の希少な植物について」（仮題）
川上美保子・土田勝義
（3）質疑応答（10分）
- 4 霧ヶ峰に外来植物が栄える（30分）
（1）「霧ヶ峰における外来植物定着群落の構造と駆除について」（仮題）
信州大学農学部 准教授 大窪久美子・玉垣政博
（2）「霧ヶ峰における外来植物の分布状況（予報）について」（仮題）
玉垣政博・大窪久美子
（3）質疑応答（10分）
- 5 天然記念物(湿原)の現状とニホンジカによる被害について（60分）
（1）「霧ヶ峰3天然記念物湿原のシカによる被害について」（仮題）
土田勝義
（2）「八島ヶ原湿原におけるGPSを利用したシカによる被害状況
（被食、踏み荒らし、糞）と低木類の分布について」（仮題）
長野県環境保全研究所 尾関雅章・土田勝義
（3）「霧ヶ峰湿原の水質とアシクラ池周辺のシカ糞調査結果について」（仮題）
信州大学理学部 教授 戸田任重・市川貴大
（4）資料報告 「湿原の植生調査から - 乾燥化とシカの攪乱について」（仮題）
高遠北小学校 校長 田中 茂・松田行雄
（5）質疑応答（20分）
- 6 終了あいさつ